校訓	盡　己	令和2年度学校通信 「松崎中だより」 第4号	発行日	令和2年6月16日
教育目標	すべてのことに全力で取り組む生徒の育成 「一生懸命勉強する」「優しい心を持つ」「感動する」生徒の育成		発行者	伊丹市立松崎中学校 校長　佐藤 幸宏

分散登校も終わり新生活様式の上で学校が始まりました

分散登校の2週間が終わりました。その間、2，3年生対象に生徒会本部役員選挙が行われました。本来であれば昨年度末に行われ、4 月から生徒会自治活動が始まるはずでしたが、この度の臨時休業により今回のスタートとなりました。学校は「小さな社会」と言われます。その中で「生徒会活動」は、自治活動の基本となり、その役員は、会員である生徒皆さんの学校生活をより良くするために、各担当の調整等を図るという重要な役割を担っています。よろしくお願いします。

分散登校期間には、個人写真撮影や身体測定、1 年生ガイダンス等、学校生活を送るための準備を、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら行いました。各教科の授業も始まり、休業中に出された課題の振り返りのもと、新たな単元の学習が進められているところです。これまで2か月間自宅で一人学習する習慣が身についていた人には、少人数であれども、再び学び合うことの意義を感じたことでしょう。

一つの課題に対し、他の人の意見や考えを聞くことは、自らの考えを見直したり膨らませたりするなど学びの幅が広がります。今後も、感染症対策として「接触」「密集」「近距離での活動」等を回避しながら、充実した授業を進めてまいります。

さて、伊丹市が、これまでの「レベル2」相当の感染レベルを、6月15日以降を「レベル 1」相当に移行したことで、学校においては、分散登校から通常登校に切り替わり、給食、そして部活動も始まりました。手洗いや咳エチケット、換気、消毒といった基本的な感染症対策に加え、「3つの密」の回避や身体的距離の確保といった「新しい生活様式」を進め、学校における感染及びその拡大リスクを可能な限り低減した上で学校運営を行ないます。活動等の緩和としては、プリント等の配布方法、ウォータークーラーの条件付き使用、共用物を中心とした消毒の実施などで

す。健康観察表での確認は従来通り行います。毎朝の検温・こまめな手洗い習慣を今まで以上に徹底することはとても重要です。ご家庭におかれましてもよろしくお願いいたします。

　また、臨時休業中における各家庭で工夫したことや知り得た情報等を共有し合うことも大切です。特にコロナウイルスに関するニュース等テレビ報道を通して見聞きする中で、様々なことを感じ、考え、家族での話題にものぼったことと思います。コロナ禍の状況下で、全世界で起きているあらゆる出来事に対して、感動したり、怒りが込み上げたりすることもあったのではないでしょうか。こうした他国の状況や、動向等について関心を持つことは、今後のグローバル社会を生きる人としてとても大切な営みでもあります。感染症に対する正しい知識や、差別や偏見を許さない心、正しい判断力などを身につけることができるのです。医療従事者の使命感に満ちた働きを報道等で知り得たときに、直に感じたことを語り合う場を多く持つことが、差別や偏見を解消する社会の実現に繋がるものと信じています。

コロナウイルス感染症予防に向けて！

・毎朝の検温、記録により風邪症状等の有無の確認　・こまめな手洗いの徹底

・咳エチケットの徹底（マスクの着用）・健康管理（十分な睡眠、適度な運動、バランスのとれた食事）

・不要不急の外出を控える　・三密（密閉、密集、密接）の回避　ゼロ密を目指す

【手洗いの６つのタイミング　「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」より　】

〇外から教室に入るとき　〇咳やくしゃみ、鼻をかんだとき　〇給食の前後

〇掃除の後　〇トイレの後　〇共有のものを触ったとき